



ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業／
量子コンピュータの産業化促進 に向けた包括的調査
QA集

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
量子チーム

2025年10月02日
(2025年10月21日 修正)

Q&A

Q.1

調査内容(1)について、量子コンピュータに関する調査が中心になると思われるが、古典コンピュータに関する調査は含めないほうが良いのか？

A.1

古典コンピュータとの関係性という見地からの提案も期待するところですので、含めていただいて問題ない。

Q.2

「グローバル市場を獲得」という際に、特定の地域を想定しているか？また、その地域に積極的に進出するための伴走支援に関する提案も求められるのか？

A.2

想定する特定の地域は現時点では決まっていない。様々な地域を想定し、それぞれのケースに関する調査と伴走支援に関する提案を期待している。

Q&A

Q.3

激しい国際競争の中で、仕様書に書かれているスケジュールよりを前倒しすることは、価値があることと考えるが、実施内容の前倒し提案は可能か？

A.3

今回の調査内容は互いに影響しあうものもあるので、各調査対象の関係性が崩れない範囲で、計画を前倒しすることは可能。

Q.4

予算 4 億円の配分はどうなっているのか、教えてもらえるか？

A.4

今回の調査内容の総計として、4 億円を設定している。内訳については、事業者ごとに工夫して、ご提案いただきたい。なお、(11) 関心層拡大のためのプログラム検討では例えばG-QuATの計算基盤を活用するトライアルのような企画が考えられるが、今回は企画までなので、量子コンピュータの利用料は考慮なくてよい。

Q&A

Q.5

量子コンピュータ以外に量子センシング、量子通信も入れていいのか？

A.5

量子センシングはNEDO内の他の部、量子通信は総務省が管轄しており、我々の関心事の中心は、量子コンピュータになる。しかしながら、量子産業化に向けたジャーニーに量子センシングと量子通信が関係することは十分に考えられるため、なんら調査を制約するものではない。

Q.6

提案する予算は安いほうが良いのか？

A.6

今回は内容を重視するため、まずは内容を充実させることを期待する。ただし、ほとんど同じ提案内容とみなされる場合は、提案金額が安い方が好ましい。

Q&A

Q.7

提案書20ページをどのような配分で使うかという想定はあるか？

A.7

ワードA4で20ページを想定。審査の効率性や審査委員の負担を考慮し、簡潔に各社の考え、アピールポイントを提案いただきたい。パワーポイントを使った補足資料は、提案書とは別に用意いただくことは問題ないが、審査委員が任意で確認する資料という位置づけである点に留意いただきたい。

Q.8

項目(11)の「関心層」とは、一般生活者も含めるべきか？

A.8

仕様書にもあるとおり、本項目の趣旨は量子コンピューターの利用者拡大であるため、一義的にはそのターゲットはユーザー企業になる。ただし、そのために必要なこととして一般の方への訴求など必要な施策があれば、ご提案頂いても問題ない。

Q&A

Q.9

今回の調査において、いくつかアウトプットとして政策提言書の記載があるが、法案の起草については、中央省庁が最終化を行うため、当調査事業で作成した成果物がそのまま法令に組み込まれることはないと理解しているが、こちらの認識で正しいか。

A.9

「本調査は政策オプションを提示するものであり、法案の起草については、中央省庁が最終化を行うため、当調査事業で作成した成果物がそのまま法令に組み込まれることはない」という理解で正しい。



ニュースリリースや公募、イベント情報等、様々な最新情報を発信しています。
ぜひフォロー・ご登録をお願いします！



NEDO
(@nedo_info)



NEDO【英語版】
(@nedo_info_en)



NEDO



スタートアップクラブ



NEDO Channel



NEDO PR Channel



NEDO Challenge
Quantum Computing  "Solve Social Issues!"

量子懸賞金事業

